

研究情報の公開（オプトアウト）

研究実施機関：広島国際大学

試料・情報を研究目的に使用されることを希望されない場合は、下記問合せ・相談等の連絡先までご連絡ください。
提供を拒否されても不利益を被ることはありません。

研究課題名	地域在住高齢者における嚥下機能向上プログラムの効果検証
研究実施予定期間	倫理委員会承認日～2026年3月31日
研究実施責任者	所属：広島国際大学 総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻 職階：准教授 氏名：福岡 達之
研究の目的・意義	高齢者においては、老化に伴い口腔および嚥下器官の構造や生理機能が変化し、摂食嚥下機能が低下する。オーラルフレイルとは、口腔および嚥下機能の軽微な低下を指すが、この状態を放置すると摂食嚥下障害へと移行するリスクがある。そのため、高齢者の口腔および嚥下機能低下を予防し、オーラルフレイル対策を講じることが重要であるが、介入の方法や効果に関しては未だ解明されていないのが現状である。 本研究の目的は、通い場に参加する地域在住高齢者を対象として、嚥下機能向上プログラムの効果検証を行うことである。本研究では、2023年度東広島市オーラルフレイル予防事業で実施した際の測定データを用いて研究を行う。 高齢者のオーラルフレイル対策として、口腔および嚥下器官に対する運動プログラムの効果を検証した研究は極めて少ない。本研究によってオーラルフレイルの予防および改善に関して、効果的な介入方法を明らかにすることができる。老化による口腔および嚥下機能低下に対し、効果的な介入方法によって口腔機能低下症や嚥下障害、誤嚥性肺炎を予防できる可能性があり、ひいては健康長寿の促進といった社会貢献活動につながることが期待される。
対象となる方（対象期間）	本研究の対象者は東広島市内の通いの場に参加する65歳以上95歳未満の高齢者とする。2023年4月1日から2024年3月31日の期間、東広島市オーラルフレイル予防事業に参加し、嚥下機能向上プログラムを行った者とする。
研究方法 使用する試料・情報の項目	研究方法：嚥下機能向上プログラムの実施前後において、口腔および嚥下機能に関する評価項目を比較検討し、プログラム実施の効果を明らかにする。 使用する情報の項目：年齢、性別、最大舌圧値、最大開口力値、舌筋の超音波エコー画像（筋厚）、オトガイ舌骨筋の超音波エコー画像（横断面積）、オーラルディアドコネシス（pa, ta, kaの各発音回数）、EAT-10（質問紙）
試料・情報の管理責任者	所属：広島国際大学 総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻 職階：講師 氏名：平山 孝子
個人情報の保護について	参加者の個人情報は、データ取得時にID化、暗号化による連結可能匿名化と

	している。連結後の対応表は個人情報管理者のみが閲覧可能とし、確実に管理することで個人情報の漏えいを防ぐ。
問合せ・相談等の連絡先	連絡先担当者名：福岡 達之 電話番号：0823-70-4651 メールアドレス：fukuoka@hirokoku-u.ac.jp